

令和8年度学校経営計画書

学校名 三次市立河内小学校

校長名 平田 雄三

I 学校の状況

学級数	3	児童・生徒数	10	教職員数	6
メールアドレス	kohchi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/kouchi/				

II 学校教育目標

みよし学園 小中一貫教育目標	まちづくりに参画・貢献し、高い志を持つ児童生徒の育成
河内小学校 学校教育目標	一人一人の個性を輝かせ、主体的に学ぶ子供の育成 ～ つながる・挑む・考動する ～

III 使命・存在意義（ミッション）

コミュニティ・スクールを核に、郷土愛・地域参画・地域貢献を意識した「資質・能力」の育成を図り“魅力ある学校づくり”を実現させ、地域（保護者）の期待に応える。

IV 重点事項（努力点）

【めざす子供像】 キーワード『つながる 挑む 考動する』

「つながる」…○自他のよさを認め合い、お互いに支え合い、協働できる子

「挑む」…○「なりたい自分」や目標に向かって挑戦し、やり遂げようと努力できる子

「考動する」…○自ら気づき、判断し、よりよい方法を考え、行動・表現できる子

【めざす学校像】

- 安心安全で、一人一人の居場所があり、自他を大切にできる学校
- 全ての児童の個性や可能性を伸ばすことのできる学校
- 保護者・地域と目標を共有し、協働できる学校

【育成したい三つの資質・能力(みよし学園)】

コミュニケーション能力

- 自分の考えをもち、他者の意見を受け止め、言葉で伝え合うことを通して、互いを理解し認め合える。

協調性

- 目的・目標を共有し、目標達成のための自分の立場や役割を認識し、他者と協力できる。

主体性

- 自らの夢や志をもち、自分から行動して新たな価値を生み出し、積極的に貢献しようとする。

V 中心価値・行動規範

【行動規範】・・・「子供は私たちの姿を見て育つ」

【めざす教職員像】

- 私たちは、子供たちの命を守り、安心・安全な学校を作ります。
- 私たちは、協働して子供たちの可能性を伸ばします。
- 私たちは、地域に学び、自らを鍛え、磨き、成長します。
- 私たちは、教育のプロとして授業力の向上に邁進します。

VI 現状分析

外 部 的 要 因	<p>O（支援的要因）</p> <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治連合会を中心に、伝統的な学校支援の風土がある。 ・教育力の高い人材と豊富な地域教材 ・「学校を核とした地域づくり」を行いたいという地域の思いがある。 <p>【市教委・県教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確な方針と施策 ・ICT等、教育環境の整備・充実 ・研修機会の創出 ・市費・県費非常勤講師の配置による専門的指導や複式解消指導が可能 	<p>S（強み）</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームとして校務運営に関わることができる教職員 ・ICT教育等、変化に前向きに対応しようとする教職員 ・小規模校のよさを生かした異年齢集団による活動 ・地域と協働した教育課程の充実 ・表現力向上に向けた教育研究 ・小中一貫した資質・能力の育成 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素直で落ち着いた学習態度 ・自ら主体的に学習に取り組む児童 ・地域を愛する児童 ・お互いの違いを受け入れ、尊重し合える児童 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を信頼し、協力的な保護者（学校に対する肯定的評価95%以上） ・参観日や学校行事への高い参加率 ・主体的、自治的なPTA活動 	内 部 的 要 因	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組</p> <p>○複式の授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた主体的な学びの実現 ・一人一人の個性を伸ばし輝かせることのできる教育の推進 <p>○地域創生を目指した「探究学習」の推進・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「河内のまち・人・ものキラキラ輝けプロジェクト」の取組の充実 <p>○コミュニティ・スクールの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とつながる協働的な学習の充実 ・児童の多様な学びに対応 ・安心安全な環境づくり ・地域・保護者とのビジョンの共有と協働
	<p>T（阻害的要因）</p> <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数の減少 ・指導者層の高年齢化・固定化 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA会員数の減少 	<p>W（弱み）</p> <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教頭が担任兼務、完全複式校で職員数が少なく、職員一人一人の校務が過重 ・職員の出張、休暇取得時の組織的な校務運営が困難 ・学校の環境整備に地域支援が不可欠 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の個人差、個別支援を要する児童 ・社会への興味関心が薄く、経験不足から、社会事象に対する知見が浅い。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA会員数の減少 		<p>弱みを克服し、阻害的要因を回避する解決策</p> <p>○「自走」できる学校経営、学級経営の構築</p> <p>○校務支援システム等の活用等による働き方改革の推進</p> <p>○個別最適な学びの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的な個別指導とICTの活用による基礎的な知識・技能の習得 <p>○複式・少人数の特性を生かした授業づくり</p> <p>○自己肯定感の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なりたい自分プロジェクト」の取組

VII 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目
確かな学力の育成	学力の定着・向上	基礎学力の向上	国語科及び算数科において ・単元テスト平均値 80%以上達成の児童 77%以上 ・国や市の学力調査全国平均以上の児童 77%以上 ・児童アンケートの「算数の時間に別解を考える」等の算数に関する項目において、肯定的な回答した児童の割合 77%以上
		育成すべき資質・能力の向上	・総合質問紙調査の「コミュニケーション能力」「協調性」「主体性」の項目で肯定的に答えた児童の割合 77%以上
豊かな心の育成	社会性, 自己意識の向上	自己効力感の向上	・児童アンケートの「自己効力感」「自己肯定感」に関する項目において、肯定的な回答をした児童の割合 77%以上
		自己指導能力の育成	・児童アンケートの「自己指導能力」に関する項目において、肯定的な回答をした児童の割合 77%以上
健やかな体の育成	自律的な生活習慣の定着と体力の向上	基本的な生活習慣の充実	・3点固定が定着した児童の割合 77%以上 ・メディアコントロール実施による達成率 77%以上
		体力・運動能力の向上	・体力・運動能力調査において、国・県平均を上回った児童の割合 77%以上
信頼される学校	学校・家庭・地域との連携した「魅力ある学校づくり」の推進	コミュニティ・スクールの充実・発信	・探究型カリキュラムの取組を学期に1回以上実施 ・探究型カリキュラムに係る情報発信 各学年学期に1回以上
		地域から学校への満足度・信頼度の向上	・「学校が安心して楽しい」と思う児童・保護者の割合 77%以上 ・HPや通信等でC.Sに係る取組を毎月発信 ・時間外勤務時間の昨年度比を+10%以下に抑制